

2020年3月13日

矢ヶ崎克馬

**福島原発事故の実相⑥ 2011年以降の出生者の異常減少**

原発事故9周年に際して事故に関する情報を勝手に差し上げています。

今回、通信81号で、

「2011年以降の出生者の異常減少」についてご報告します。

添付ファイルをご覧ください。

1 出生数の減少<sup>2 3)</sup>

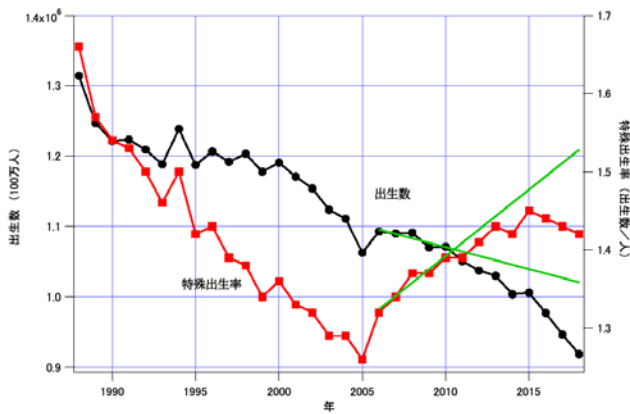


図 17 1988 年以降の出生数と特殊出生率

出生数は長期的に減少傾向を保つ。特殊出生率は 2005 年に鋭く折れ曲がる極小値を示し、出生数も同じ年に異常極小が見える。

出生数は迷信による出産控えや社会条件・政策等を反映しやすく、死亡数に比べれば短期間で変動し長期間での直線近似は当てはまらない<sup>2 3)</sup>。

2005 年に特殊出生率が最低になり、それ以前のモードとそれ以後のモードが異なることを示している。2011 年以降の異常を判定するために、2006 年～2010 の平均直線化が、短期間ではあるが、唯一意味あるものとなる。

2005 年の異常点より後の 2006～2010 年を直線近似の基盤として、この直線近似を少子高齢化の傾向を示すものとして扱った。2011 年を境界としてさらに鋭く落ち込んでいることが図 17 で見て取れる。

この分析により 2011 年から 2017 年までの異常な出生数減少（図 1 2 では緑直線からの減少）が総計 27.1 万人に及ぶ数値が得られた。死亡者の異常な増加数と合わせると実に 54 万 7 千人に及ぶ。

上記の方法で少子高齢化の傾向を直線近似し、2011 年以降の少子高齢化直線からのずれを推定した。近似の方法により数値的な誤差が生じるかもしれないが、2011 年以降に異常な変化がある事は確実である。

2011 年以降の死亡者の増加と出生数の減少を計算した異常人口減少量を図 13（前回報告）に加えて記したのが図 18 である。

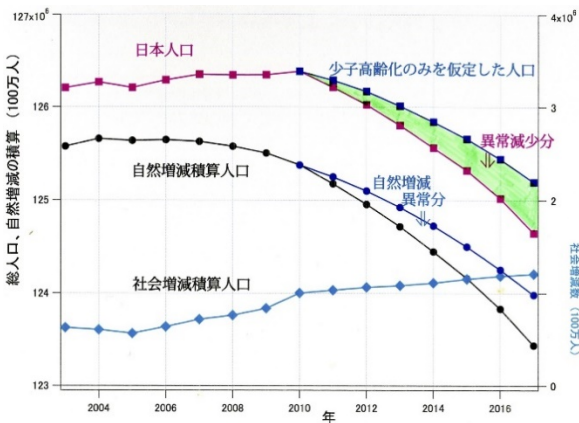


図 18 死亡者の異常増加と出生者の異常減少をグラフ上で示す。緑色の部分が上述した 54 万 7 千人である。この部分が地震／津波（直接的犠牲者は 1 万 5 千人）および原発事故の影響と見なせる量である。

もし原発事故がなかったら人口減少が緑色部分だけ緩和された可能性があるのである。

日本の人口減少のおよそ 75%は少子高齢化による減少であり、25%は異常減少（上図緑色部分）である。

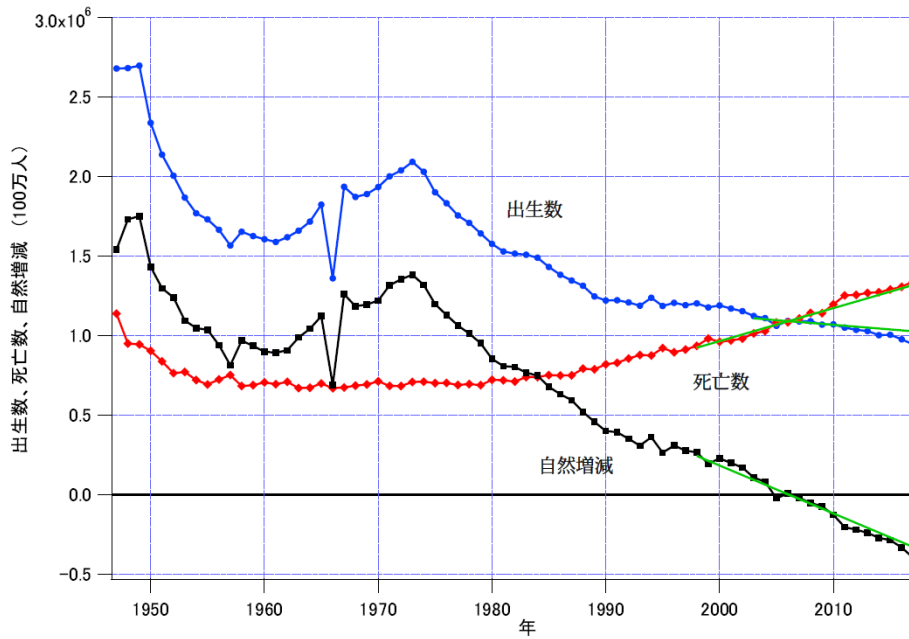
次ページの図 A, B, C に 日本、ウクライナ、ベラルーシにおける死亡数、出生数、人口増減の年次依存を示す。

まず出生数についてであるが、チェルノブイリ原発事故の 1986 年を境界として周辺国では、それ以後の出数が明瞭に著しく減少した<sup>3 2)</sup>。日本では少子高齢化を反映して出生数も 2010 年以前から激しく減少しているが、2011 年以降その減少率を大きくしている（図 17）。図 A の縦軸のスケールが日本のグラフは一桁近く大きいので日本の減少は目立たない印象を受けるが同様のスケールにすれば減少がはっきりと見て取れる。

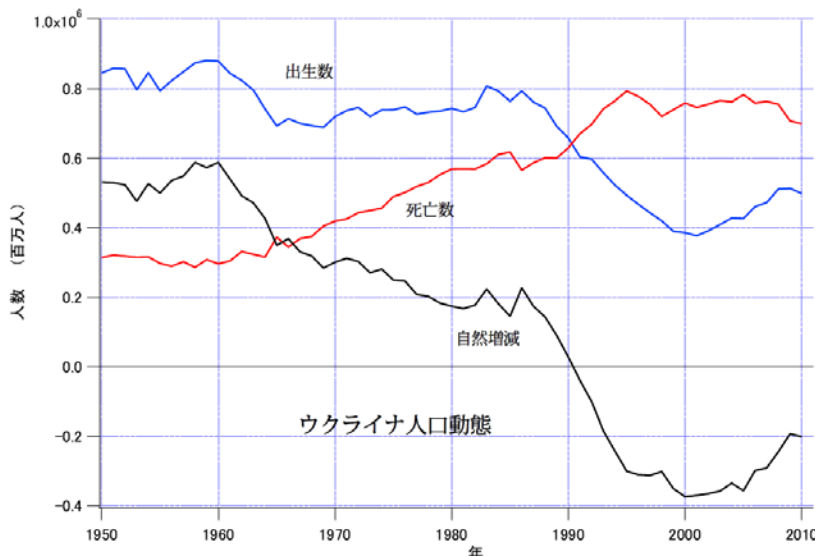
死亡数については、チェルノブイリ周辺国は事故直後むしろ減少しその後年次依存増加の勾配を高めている。それに対し日本は 2011 年で地震津波の直接犠牲者の数を遙かに超える死亡者の増加がある。こ

れが死亡数増加の日本の特徴である。チェルノブイリ周辺国は事故直後の死亡増加は記録されていない。  
 自然増減は上記のことを反映して事故直後にいずれの国も減少している。

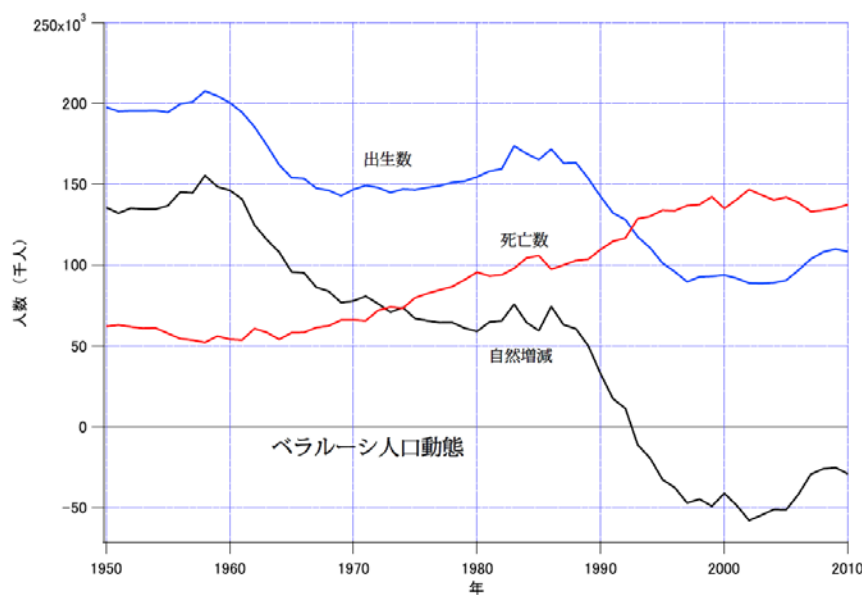
図A 日本の死亡数、出生数、自然増減の年次依存

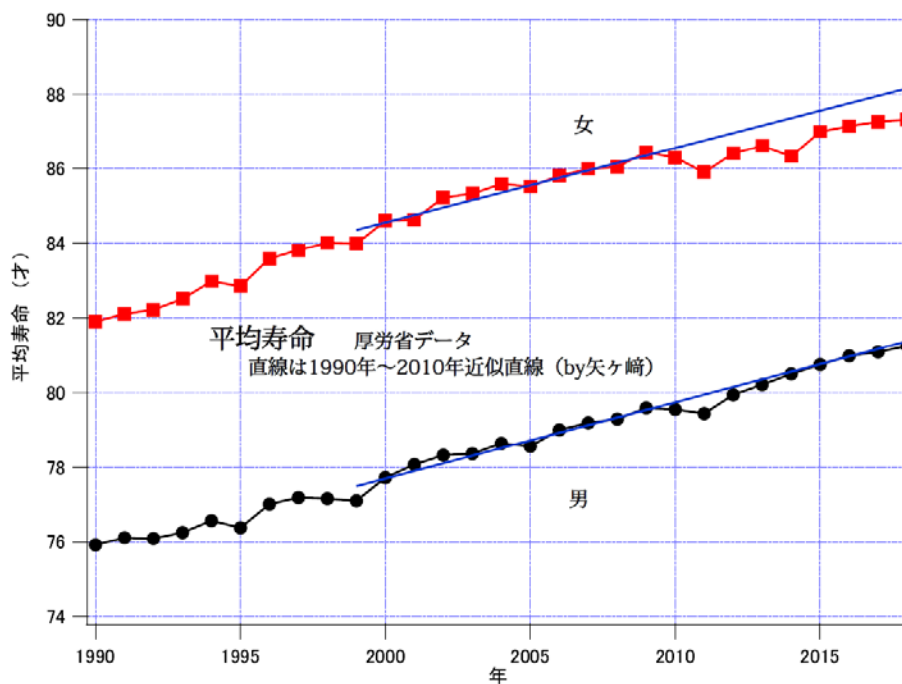


図B ウクライナの死亡数、出生数、自然増減の年次依存



図C ベラルーシの死亡数、出生数、自然増減の年次依存





図D 日本の男女別平均寿命の年次推移  
 2011年以降男女ともに減少が見られる。女性の減少率は男性より大きい。  
 男性は2014年以降は少子高齢化直線に帰っているように見受けられる。  
 平均寿命は0歳時における平均余命で、天寿ではありません。若年者の死亡が多いと短くなります。

## 2 多発する小児甲状腺がん

多発する小児甲状腺がんは福島県内だけで、2019年9月30日現在で237人に及んでいる。そのうち187人が手術済み<sup>33)</sup>。多発する小児甲状腺がんについてはいくつかの科学論文<sup>34)</sup>が出され、いずれも放射線被曝による発症率増加と結論している。

それまでの「小児甲状腺がんと原発事故との間には関係が見いだせない」としてきたところを、昨年(2019年)福島県健康調査検討委員会は「関係が無い」と断言した<sup>35)</sup>。福島県県民健康調査検討委員会甲状腺検査評価部会でのデータ処理には、検査開始から甲状腺がんを確認するまでの時間が全く考慮されていないのが致命的な誤りである。

一般に病気の発症率などは一定の期間内に発症した人数を確認して発症率などを導いている。福島県小児甲状腺調査は線量の高い地域から始められ、線量の低い地域の調査にはより多くの確認基盤となる時間が掛かっている。

発症率については検査開始から発生を確認するまでの時間を考慮した「単位時間あたりの発生率」を比較の基準化としなければならない。検査までの時間依存を考慮しなければ科学的考察をしたとは言いがたい。

①甲状腺がん発症率などは、確認時間と被曝線量に依存するはず。

②時間依存を無視して放射線量だけとの関係を求めれば、当然、有意な関係として発症率などと線量依存関係が出てこない恐れが十分ある。

③「単位期間に基準化されていない発症率」と「被曝線量」の相関が認められなかったと言って、「事故との関わりを否定する」ことは科学的姿勢ではありえない。

④たった1回の検討で判断しているのではないのであるから、「事故との関わり」を否定するのは、「科学的無知」による結果ではなく、国家的ファシズムの意図と理解しなければならない。

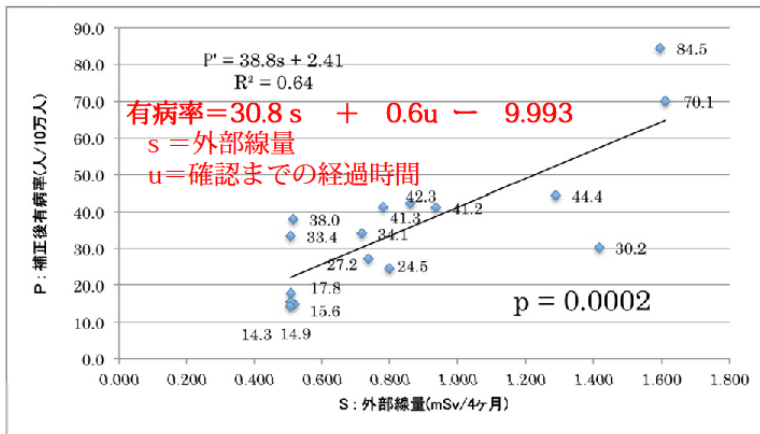


図19 福留正人氏<sup>34)</sup>による小児甲状腺がん発生率と外部放射線量と経過時間依存。

図19は福留正人氏<sup>34)</sup>による研究結果であり、小児甲状腺がんの発症率は外部被曝量と確認までの経過時間の両者に依存する。明かに土地汚染と単位期間内の甲状腺がん発症率の因果関係を証明するものである。福島県民健康調査検討委員会は少なくとも科学的見地に立って事実をありのままに認識する科学を実施しなければならない。

甲状腺の吸収線量の測定については、「弘前大学のチームが正確な測定装置を持って、子供たちの甲状腺線量測定を開始しようとした。これは62人の測定記録が残されている<sup>43)</sup>。しかし、これに対して福島県知事が「市民の不安をあおる」と中止を要請した<sup>44)</sup>。結果として中止された。

#### 本日の記述に関する参考資料

- 23) 政府統計の総合窓口：<https://www.e-stat.go.jp/>、  
 福島県人口、南相馬市人口死亡数は福島県HP：  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/16890.html>  
 死因部類別統計にまとめたものは、小柴信子：  
<https://yahoo.jp/box/aPQLvU>、<https://yahoo.jp/box/7aVNQ1>、  
 参考にするべき論述は、矢ヶ崎克馬：「南相馬市の死亡率増加は「帰還」の危険性を物語るのか？」  
<https://www.sting-wl.com/yagasakikatsuma30.html>
- 32) (ウクライナとベラルーシの人口変動)：  
<http://www.inaco.co.jp/isaac/shiryo/genpatsum/ukrainel.html>
- 33) 第37回福島県民健康調査委員会、福島原発事故と小児甲状腺がん <https://www.sting-wl.com/category/>
- 34) Tsuda et al. *Epidemiology* 27 316-(2016)、津田俊秀ら：甲状腺がんデータの分析結果、科学87 (2) 124-(2017)  
<https://drive.google.com/file/d/0B230m7BPwNCyMjImdTVOdThtbEE/view>  
 松崎道幸：福島の検診発見小児甲状腺がんの男女比(性比)はチェルノブイリ型・放射線被ばく型に近い  
 豊福正人：「自然発生」ではあり得ない～放射線量と甲状腺がん有病率との強い相関関係～  
<https://www.sting-wl.com/category/福島原発事故と小児甲状腺がん>  
 矢ヶ崎克馬：甲状腺がんスクリーン効果出ない  
<https://www.sting-wl.com/yagasakikatsuma21.html>  
 矢ヶ崎克馬：多発している小児甲状腺がんの男女比について  
<https://www.sting-wl.com/yagasakikatsuma21.html>
- 35) 2019年7月8日開催：第35回検討委員会：「甲状腺検査本格検査(検査2回目)結果に対する部会まとめ
- 43) 福島原発事故の真実と放射能健康被害 「SPEEDI甲状腺被曝調査の致命的ミスを今、暴露する！実測結果まとめ」 <https://www.sting-wl.com/speedi100msv.html>
- 44) <https://uni.5ch.net/test/read.cgi/newsplus/1339639223/150>